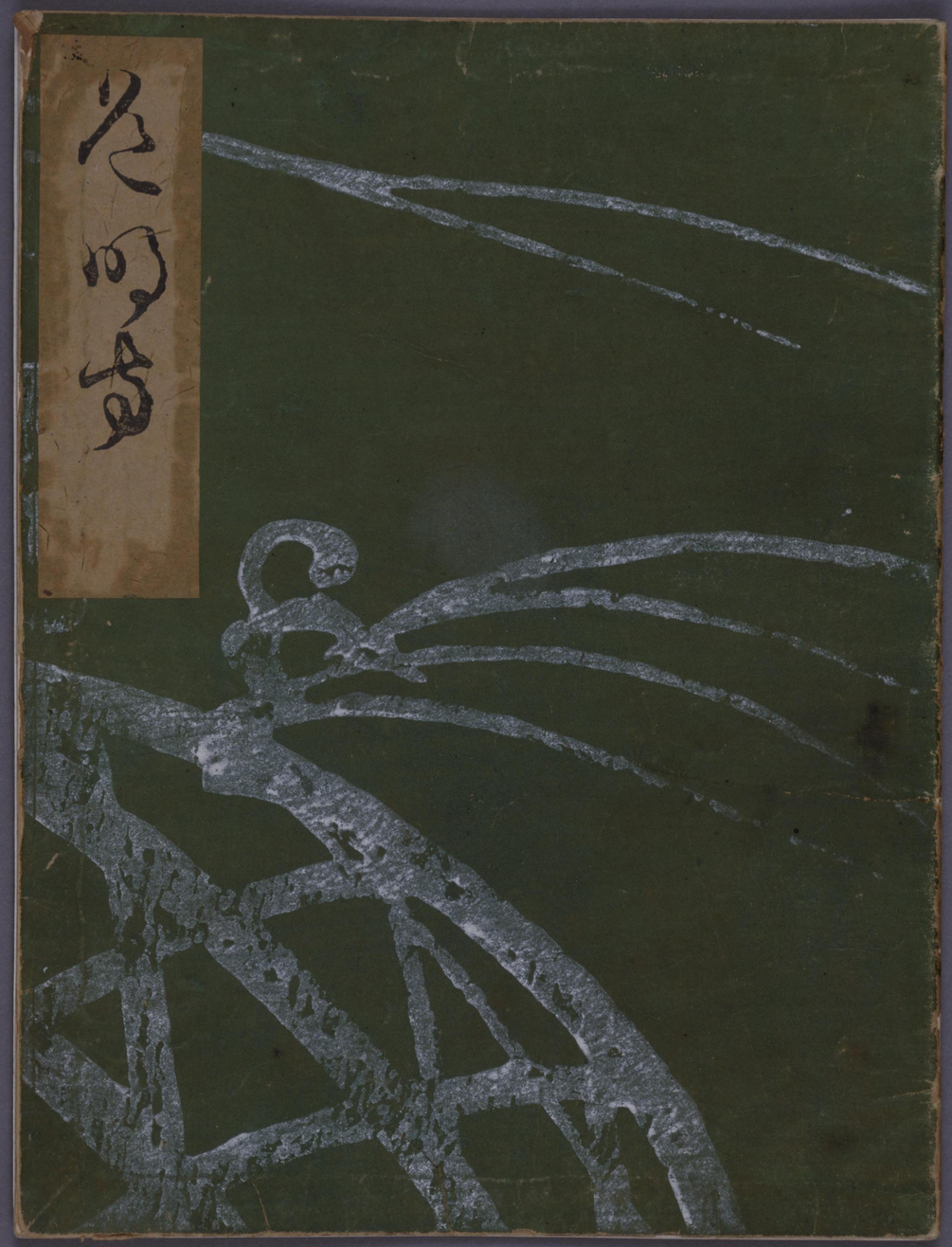


[謡本] 道明寺 1冊 WA7- 065-001

国立国会図書館

次第

よ業ひそわそとを出をきそそやぐ〳〵

下こ〳〵〳〵こ〳〵〳〵

御乃浦寺かそ〳〵〳〵〳〵〳〵

夫い、お桜國田代とやとそ〳〵

そすま主やそう〳〵〳〵〳〵

善光寺乃めまそ〳〵〳〵〳〵

やてそんそ〳〵〳〵〳〵

業つそてはほそ〳〵〳〵〳〵

書 17.10.-6 国会図

[謡本] 道明寺 1冊 WA7- 065-002

国立国会図書館

A 1 2 3 4 5 6 M 8 9 10 11 12 13 14 15 B 17 18 19

五行上、
ひそこりやひやおもひは
ここここ
垂中哉ぐ〳〵まで
ここここ
きのふおもひあとよそな哉
ここここ
行方をまつ雪の浦もとゝろ
ここここ
西乃宮ダわかくれ乃夢ゟ
ここここ
なるまても見やらん河内なる五助乃

二一一 二九一下
里ゟも葉よりくわく 長月深
一一一 一一一
ゟも松乃秋をうそ照や紅葉狩
一一一 一一一
五助乃をやな哉ぬ 一一一
一一一 一一一
ゟそや秋風ひとわたるく
一一一 一一一
号よ出たる老人ゟそ里乃出も
一一一 一一一
五助まつ乃俄神ゟ
一一一 一一一
ゟ数や利生い榎ゟ
一一一 一一一

[謡本] 道明寺 1冊 WA7- 065-003
国立国会図書館

[謡本] 道明寺 1冊 WA7- 065-004
国立国会図書館

A 1 2 3 4 5 6 M 8 9 10 11 12 13 14 15 B 17 18 19

當寺に參詣して、寺中の人々
あひやう夢想乃やうをかくると
やたくいは（ニテ詞）不思議なる事共
多いもまかだ先は夢想乃根をし
老人ふしぎ物語りく、栗まで
る中乃人々へ（中）
「惣嬢しやいまへひ詰めやいは
寺中乃人々へみほひろめらく
（ニテ）「いかやいは（地）是いお様國田代と
やうにはよろうすまあらうぬやうまで
ようそいはこの我と御往生乃心さし
きにようてぼ仕度信濃國善光寺へ
まいると一七日案内やうまで来
九たく乃ほうへ受おうと

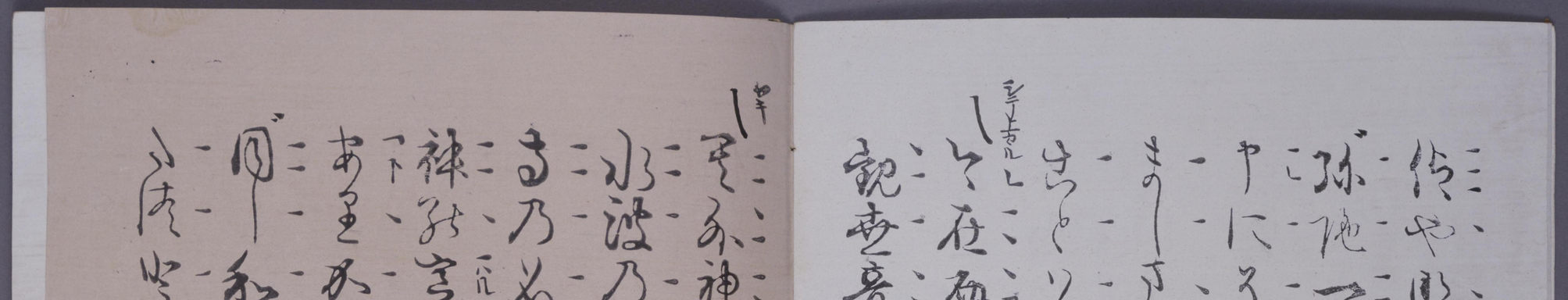
[謡本] 道明寺 1冊 WA7- 065-005
国立国会図書館

[謡本] 道明寺 1冊 WA7- 065-006
国立国会図書館

おもかうおもかうおもかうお

[謡本] 道明寺 1冊 WA7- 065-007
国立国会図書館

A 1 2 3 4 5 6 M 8 9 10 11 12 13 14 15 B 17 18 19



[謡本] 道明寺 1冊 WA7- 065-008

国立国会図書館

[謡本] 道明寺 1冊 WA7- 065-009
国立国会図書館

昔神乃そ〻き
神も渇世に
下ニ
西行よ
五ハ
法〻ぞ
桜〻乃
伯通
下ク
思ひの
ごの〻ほ〻
とのほなる
かたけな
習をも

心ほそくも天降ひ給ふ乃園に
いまそかりをかしくもあたらし
き苔橘乃かりそめに観音寺乃種子
諸教皆小智乃そこなはるるそ乃
秋を思ふそぬるよなし
上
雲をなす秋て三四月海苔波冬
雨を待つ

[謡本] 道明寺 1冊 WA7- 065-011
国立国会図書館

[謡本] 道明寺 1冊 WA7- 065-012
国立国会図書館

A 1 2 3 4 5 6 M 8 9 10 11 12 13 14 15 B 17 18 19

シテ詞
松原をいはおもてうらへとも院よ
見ゆるふ白たまか星霜はも
かひこの身乃ふ(上カル)ゑをねるし
たまのふ面(上カル)にゆやとそふ乃枝に
さたまわたわうきそふ成
なれへ来のなゝ(上カル)こゝ
叫ふまの(上カル)梅を樂ハ(シテ詞)梅ハ朝けとも
きいそ(上カル)ゝ
あけ乃たまう(上カル)
こゝ
そ中にくまたまう(元)小忘乃
袖よわよ風(上カル)やしやゆひやま(元)
とまくゞ(元)ふもよふも老乃
こゝ
波乃雪落まゝ(元)たまうほときお
(一八ウ)
しやくひやそ(一九オ)ハ松も波や

A 1 2 3 4 5 6 M 8 9 10 11 12 13 14 15 B 17 18 19

シテ
ハ、そもそも此寺の、二月二
十五日を、七日まで、七福子ひき
て、参詣をうやまひ、
ながらて仏
うに明かは魔縁を祓ひ、おさまる
を、いよいよ寿福増長、秋楽
かは民を風
命をのかは法
ワキ
ハ、
ワキツレ
ハ、
ワキツレ
ハ、
ワキツレ

数々百八ほんなをこと
数珠おろする
神楽乃夢さ

国立国会図書館

[謡本] 道明寺 1冊 WA7- 065-016

国立国会図書館

[謡本] 道明寺 1冊 WA7- 065-017

国立国会図書館